

英語コミュニケーションに関する説明



UNIVERSITY OF KOCHI

1. 科目の構成

英語コミュニケーションⅠ

英語コミュニケーションⅡ
プレゼンテーション(基礎・応用)

英語コミュニケーションⅡ
エッセーライティング(基礎・応用)

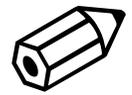
※本資料中、英語コミュニケーションⅠを「ECⅠ」、英語コミュニケーションⅡプレゼンテーションを「ECⅡ-P」、英語コミュニケーションⅡエッセーライティングを「ECⅡ-E」と表示することがあります。

英語コミュニケーション I

3



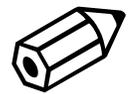
授業は週に2回開講



授業科目は4つ (A~D)



一クラス20~30人程度



取得単位は2単位

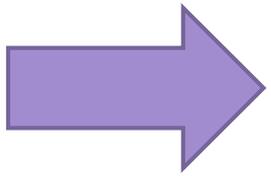


1回生時は前後期とも I のみ履修

クラスは、
プレースメントテスト注1) の
結果を受けて分けられます。
但し、夜間主クラスについては1回生と2
回生以上というクラス分けになります。

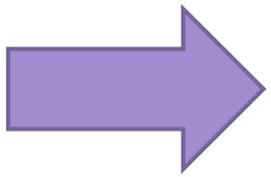
注1) プレースメントテスト

新入生のみを実施されるテストで、英語コミュニケーション I の最初の授業で実施されます。
簡単なListening・Reading問題です。
実施日、試験会場などは別途お知らせします。



このコースの達成目標

- 1)リスニング活動を中心にしながら、アウトプットも重視。
- 2)手本となる音声ファイルを繰り返し聞き、シャドーイング、要点や概要のまとめ作成といった活動をこなしながら基礎力をつけることを目的としている。



授業科目は4つ（A～D）について説明

5

例) 1回生

【前期】 英語コミュニケーション
I A

【後期】 英語コミュニケーション
I B

例) 2回生

【前期】 英語コミュニケーション
I C

【後期】 英語コミュニケーション
I D

例) 3回生

【前期】 英語コミュニケーション
I A

【後期】 英語コミュニケーション
I B

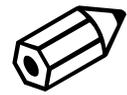
英語コミュニケーション I には、
末尾にA～Dのアルファベットが付帯します。
例えば、「**英語コミュニケーションI A**」
「**英語コミュニケーションI B**」といった具合
です。A～Dの記号は左の図のように年度・
学期毎に順番が変わります。

もし、1回生前期にI Aが開講される場合、
後期はI Bを開講します。
2回生では前期にI C、後期にI Dを開講し、
3回生では前期にI A、後期にI Bを開講する
といった具合に変わっていきます。
この場合、1回生でI A、I Bの単位を取得で
なければまで3回生までI A、I Bは開講さ
れませんので、気を付けてください。

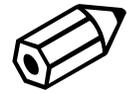
なお、英語コミュニケーションI A、I B、
I C、I Dはそれぞれ別の科目となりますので、
重複履修とはなりません。

英語コミュニケーションⅡ プレゼンテーション(基礎・応用)

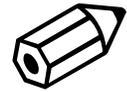
6



授業は週に1回開講

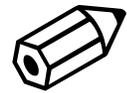


英語Speakingコース

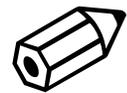


基礎（前期）→応用（後期）

※この順番に履修することを強くすすめます。



取得単位は1単位

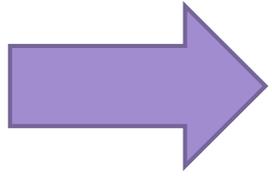


履修資格⇒英語能力一定レベル以上

英語能力一定レベル以上とは...

過去にTOEIC-Bridge試験で69点以上(2019年度以前 134点)、またはTOEIC試験で350点以上を取得していること。EC Iの科目から2単位以上の修得が必要。

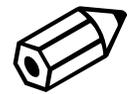
ただし、原則として、1回生の間は前期・後期とも、EC Iのみを履修して4単位を修得して下さい。



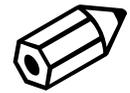
このコースの達成目標

- 1) 英語で会話し、不自由なく交流できる
- 2) 日常的な英語を聞き取る
- 3) 必要に応じて、意味を確認するために質問できる
- 4) プレゼンテーションするためのポイントを理解している
- 5) 他者の前でスピーチができる
- 6) 英語でプレゼンテーションができる

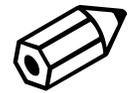
英語コミュニケーションII エッセーライティング(基礎・応用)



授業は週に1回開講



英語Writingコース



基礎（前期）→応用（後期）

※この順番に履修することを強くすすめます。



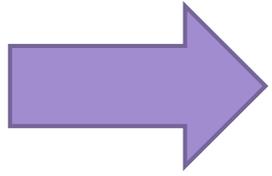
取得単位は1単位



履修資格⇒英語能力一定レベル以上

**英語能力一定レベル
以上とは...**

過去にTOEIC-Bridge試験で
**69点以上(2019年度以前 134
点)**、またはTOEIC試験で
350点以上を取得していること。
EC I の科目から2単位以上
の修得が必要。
ただし、原則として、1回生
の間は前期・後期とも、EC
Iのみを履修して4単位を修
得して下さい。



このコースの達成目標

- 1) 段落の構成を理解し、自分で段落を書ける
- 2) それぞれ必要なパート(3つ)を含む序論と結論が書ける
- 3) 段落を結合し、より長くて、読者が理解しやすい文章を作成することができる
- 4) トピックについて明瞭に書くために、アイデアを集めて分析できる
- 5) 必要な部分をすべて含む5段落以上のエッセーを書くことができる
- 6) 構造と形式に誤りのない“インフォーマティブ・エッセー”(情報を提供するエッセー)を英語で書くことができる

2. 開講時間割

◇ 池キャンパス

(看護学部、社会福祉学部、健康栄養学部)

(例) 1回生で英語コミュニケーションⅠA、ⅠBが開講される場合

【1回生前期】

	月曜	木曜
1限目 (8:50-10:20)	英語コミュニケーションⅡ 基礎プレゼンテーション	英語コミュニケーションⅡ 基礎エッセーライティング
2限目 (10:30-12:00)	英語コミュニケーションⅠA	

【1回生後期】

	月曜	木曜
1限目 (8:50-10:20)	英語コミュニケーションⅡ 応用プレゼンテーション	英語コミュニケーションⅡ 応用エッセーライティング
2限目 (10:30-12:00)	英語コミュニケーションⅠB	

2. 開講時間割

◇ 永国寺キャンパス (文化学部)

(文化学部 夜間主)

(例) 1回生で英語コミュニケーション I A、I Bが開講される場合

文化学部【1回生前期】

	水曜	金曜
1限目 (8:50-10:20)	英語コミュニケーション I A	
2限目 (10:30-12:00)	英語コミュニケーション II 基礎プレゼンテーション	英語コミュニケーション II 基礎エッセーライティング

文化学部 夜間主【1回生前期】

	月曜	水曜
7限目 (19:40-21:10)	英語コミュニケーション I A	

文化学部【1回生後期】

	水曜	金曜
1限目 (8:50-10:20)	英語コミュニケーション I B	
2限目 (10:30-12:00)	英語コミュニケーション II 応用プレゼンテーション	英語コミュニケーション II 応用エッセーライティング

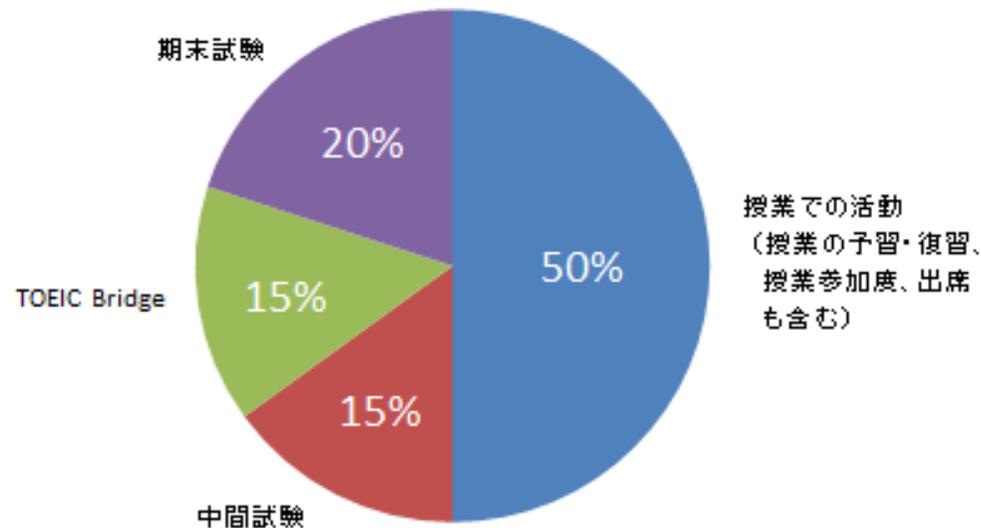
文化学部 夜間主【1回生後期】

	月曜	水曜
7限目 (19:40-21:10)	英語コミュニケーション I B	

3. 成績について

◆英語コミュニケーションI (ECI)

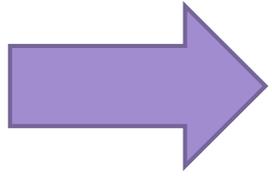
英語コミュニケーションI 成績の内訳



課題および授業の中で学習した内容や課題に関する試験結果をあわせて評価を行います。まとまった長文を聞き取り、その中から重要な情報を見つけ出したり、聞いた文章を書き取る活動などを行います。充実した成績で終えるための重要なポイントは、内容をしっかり理解すること、録音ファイルを聞いて、授業で行った練習を何度も繰り返すことです。また、この科目では授業の中で **TOEIC-Bridge IPテスト** を実施します。スコアは成績の一部となります。

*出席について

授業にはすべて出席することが前提です。100点満点中、出席と授業での活動と合わせて50点を占めています。期末試験を受験できるためには、最低3分の2以上（20回）の出席数が必要です。1回欠席につき2点減点となります。例えば、**10回欠席すると20点の減点**になるので注意してください。なお、**11回欠席すると、単位認定のための資格を失います。**



TOEIC Bridgeについて

13

EC I の履修生は**TOEIC-Bridgeの受験が必須**です。

前掲のグラフにもあるとおり、TOEIC-BridgeのスコアはEC I 全体の成績の15%を占めます。計画的な準備をして、試験に臨んでください。

この試験は事前に申し込みが必要です。申し込みを忘れると受験できませんので、注意してください。

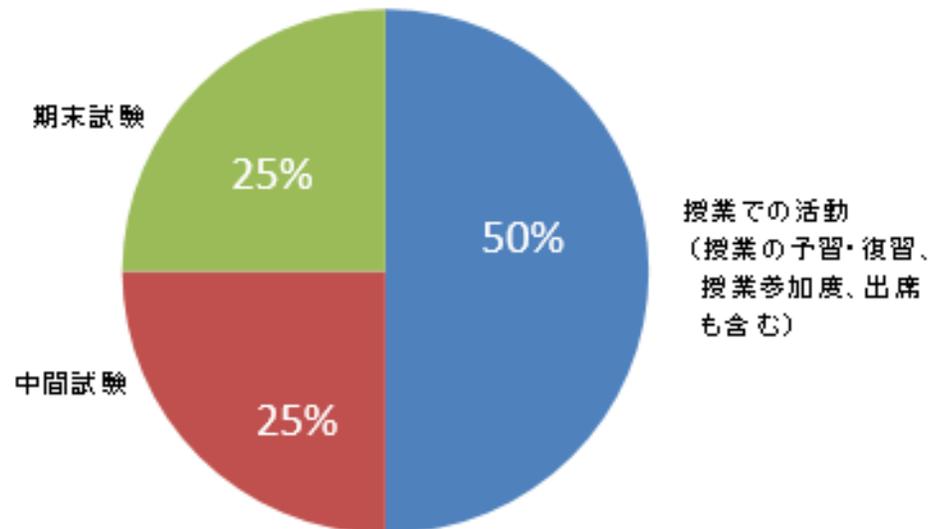
試験実施日や受験料及びその支払方法、実施方法については、ポータルシステム・掲示版または授業担当教員を通じて、別途連絡します。

※ TOEIC-Bridgeは、新型コロナウイルス感染拡大などの影響でオンラインで実施されることがあります。

3. 成績について

◆英語コミュニケーションⅡ プレゼンテーション (ECⅡ-P)

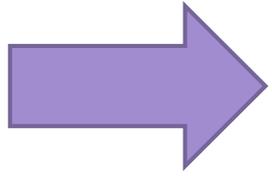
英語コミュニケーションII-P 成績の内訳



様々な話題について、様々な状況で話すことを学びます。履修生同士で会話し、尋ねたり、答えたり、情報のやりとりを行ったりします。この課題は「コミュニケーション力」「正確さ・的確さ」で評価されます。しっかりと考え、整理して話す必要があります。こうした課題がこなせるようになるためには授業時間外も引き続き練習することが必要です。

*出席について

授業にはすべて出席することが前提です。100点満点中、出席と授業での活動と合わせて50点を占めています。期末試験を受験するためには、最低3分の2以上(10回)の出席数が必要です。1回の欠席につき4点を失います。例えば、5回欠席すると20点の減点になるので注意してください。**6回欠席すると単位認定のための資格を失います。**



EC Challenge について

EC Challengeとは、日頃授業で行っている訓練の成果発表会です。ECⅡ基礎プレゼンテーション・応用プレゼンテーションの履修生が一堂に会し、クラス単位の発表を行います。発表の内容は担当教員の指導のもと、クラス毎に決めていただきます。例年6月、12月頃に実施しています。

* EC Challenge開講日程

	池 キャンパス	永国寺 キャンパス
前期	なし	6月頃実施
後期	なし	12月頃実施



👉 発表会の様子

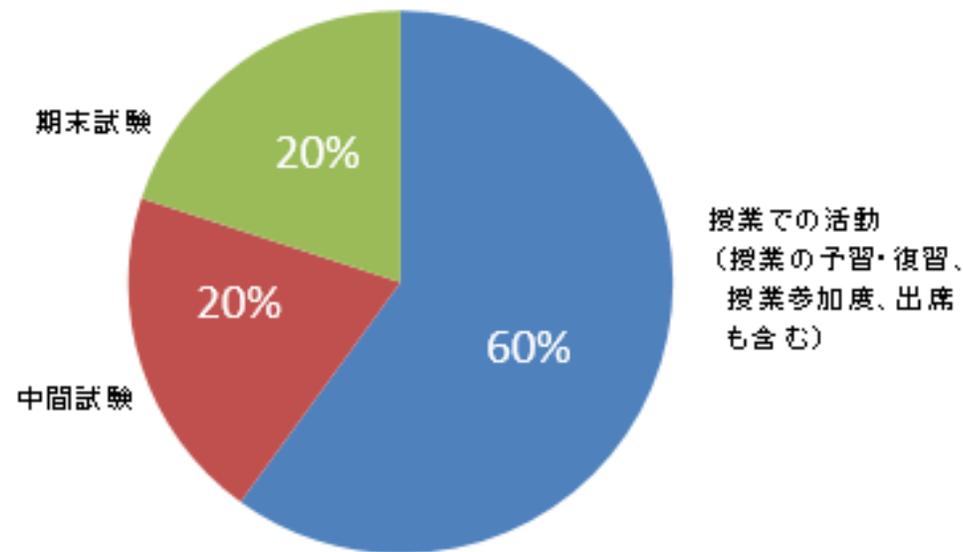
ゲームなどを取り入れて全員が参加できるように工夫がされています。

3. 成績について

◆英語コミュニケーションⅡ

エッセーライティング (ECⅡ-E)

英語コミュニケーションⅡ-E 成績の内訳



この科目では、書いてコミュニケーションを行っていくために必要なスキルを学んでいきます。しっかりした英語が書けるようになるためには、決められた課題を期限までに提出することが非常に重要です。

*出席について

授業にはすべて出席することが前提です。期末試験を受験するためには、最低3分の2以上（10回）の出席数が必要です。1回の欠席につき4点の減点としています。例えば、5回欠席すると20点の減点になるので注意してください。**6回欠席すると単位認定ための資格を失います。**

4. 履修登録

英語コミュニケーション科目の履修登録は他の科目とは異なります。

履修登録の前提として、「英語コミュニケーション科目履修登録」アンケート（履修希望調査）に回答（※）しなければなりません。これに回答しない場合は英コミ科目の履修はできませんので、ポータルシステムのお知らせや学内の掲示に注意して下さい。

なお、履修希望調査は例年、以下の時期に実施しています。

学 期	履修希望調査期間
1回生後期授業分	7月初旬～7月中旬
2回生前期授業分	2月初旬～2月中旬

（※）1回生及び新編入生 前期（夜間主除く）はプレースメントテストを行うため履修希望調査はありません。当該履修希望調査に回答した学生を対象に、次の項目で記載する**6.クラス分け**を行った上で、事務局にて履修登録を行います。

5. クラス分け

1回生及び新編入生(夜間主除く)は、前期初回の授業でプレースメントテストを行います。その結果に基づいてクラスの割り振りが決まります。後期は、6月に実施するTOEIC-Bridgeテストのスコアに基づいて、クラス分けが行われます。2回生以上については、前年度に受験したTOEIC-Bridgeのスコアに従って履修クラスが決定されます。クラスは、ポータルシステムにログイン後に表示される時間割表・掲示で確認してください。

※ 英コミの教科書は、クラスによって異なりますので、クラス分け決定後に指定された教科書を購入してください。

高知県立大学
University of Kochi

さん

トップページ | メッセージ | 履修情報 | 成績 | 学籍情報 | 各種設定

アンケート回答 | アンケート集計結果 | シラバス検索 | 年間行事予定 | 授業連絡 | IA・アルバイト

メッセージ

📧 新着メッセージが18件あります。

お知らせ検索

お知らせ

時間割表

🚨 は、連絡事項(休講・補講・時間割変更・教室変更・講義連絡)です。

▼ 前学期へ 次学期へ

2020年度後期						
月	火	水	木	金	土	日
英語コミニケーション1B (吉田 祐子) 後期	2		英語コミニケーション1B (吉田 祐子) 後期			
2						

!重要!

英語コミュニケーション
科目の単位について

卒業要件として...

英語コミュニケーション科目で6単位取得しなければ卒業できません。

卒業年次になって、単位不足とならないように、履修登録時に取得単位数を確認するなどして気を付けてください。

6. 英コミサイトのログインの仕方

教材の一部は英コミサイト(「**Moodle (ムードル) ※**」と呼ばれています。)からアクセスできます。
Moodleへのログインの方法などについては、別途案内しているマニュアルを確認してください。

【アクセス方法】

高知県立大学トップページ⇒「在学生・教職員」⇒〈支援システム〉⇒「英語コミュニケーションサイト」

👉 <http://uoklms.cc.u-kochi.ac.jp/course/index.php?categoryid=18>

7. e-ラーニング NetAcademyNEXTの紹介

大学では、「**Moodle (ムードル)**」の他にも、「**NetAcademyNEXT(ネットアカデミーネクスト)**」というe-Learning教材もあります。アクセス方法は、Moodleの画面にリンクがありますので、クリックして、以下の画面に変わったら、ポータルシステムにログインするときと同じIDとパスワードでログインしてください。

UOKLMS

メインメニュー 
 Site news

ナビゲーション 
ダッシュボード
・ [サイトホーム](#)
▶ [サイトページ](#)
▼ [マイコース](#)
▶ [EC Info for Students](#)
▶ [LL](#)

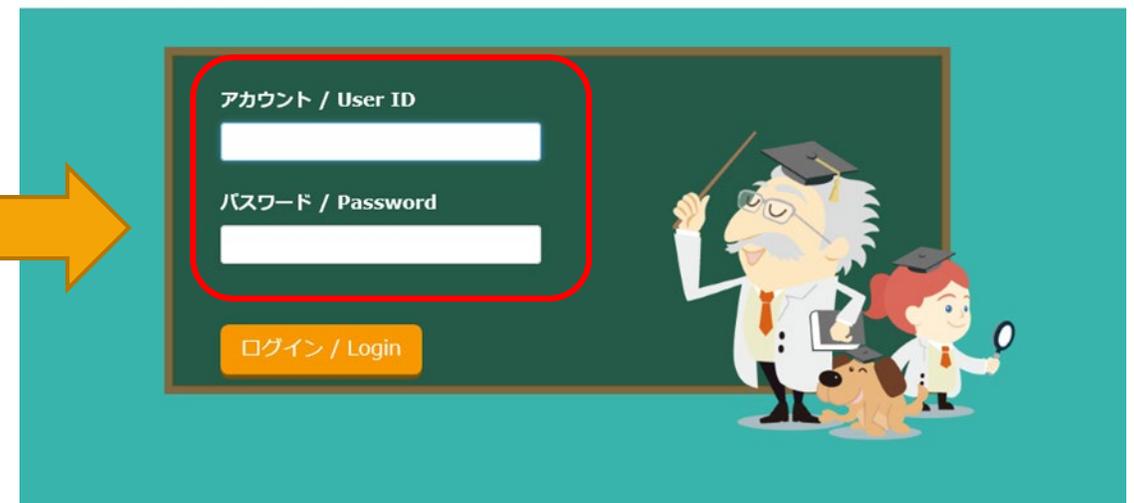
ALCの英語学習システムNetAcademyNEXTへのリンクを設定しました。

 [NetAcademyNEXT](#)

TOEIC対策や英語の自己学習にぜひ活用してください。

※ NetAcademyNEXTのIDとパスワードは、UOKLMSのものと同じです。
UOKLMSのパスワードを忘れた方は、池キャンパス図書情報課へお問い合わせください。

ALC NetAcademy NEXT



The image shows the login interface for NetAcademyNEXT. It features a dark green background with a white rounded rectangle containing the login fields. The fields are labeled 'アカウント / User ID' and 'パスワード / Password'. Below the fields is a yellow button labeled 'ログイン / Login'. To the right of the login area is a cartoon illustration of a professor with a white beard and glasses, wearing a white lab coat and a graduation cap, holding a pointer stick. Next to him is a female student with red hair, also wearing a graduation cap and a white lab coat, holding a magnifying glass. A small brown dog is sitting between them.